

よろこび

日蓮宗 開聖会

本山 妙顕寺

長春山 本誓寺

新年おめでとうございませう。今年も南無妙法蓮華經と唱えてよろこびの一年を過ごしましませう。妙顕寺のご本堂で南無妙法蓮華經と一緒に唱えましょう。

『よろこび』四十六（幸福とは何かの再考）

貫首 齊藤 日軌

南無妙法蓮華經と唱え、豊かさを感じよう。心の内側にある豊かさの源とつながろう。物質にかこまれていても欠乏感にあるのは豊かではない。そこには圧倒的な喜びの波動がある。この喜びを感謝報恩愛の行いに変えて人々に施そう。愛を与えられた人々はまたそれを感謝で返してくれるであろうここに感謝、愛、喜びの宇宙的な循環がある。これこそが幸福の循環であり発展である。

それが一念三千、南無妙法蓮華經の道である。お題目を唱えて心の内にある幸せを世界に施そう。

ここで大切なのは感謝の源とつながる。喜びの源、愛の源とつながることである。その愛でまず自分を愛し続けようそして世界のすべてに愛を施そう。



みおしえ

「こころはふるい立ち

思いつつましく

こころを用い

業（ふるまい）をきよくし

おのれをととのえ

法（のり）に遵（したが）いて生活す

かくはげみある人に

称誉（ほまれ）は高からん（法句經二十四友松圓諦

訳）

こころはふるい立ち、思いつつましく、行ないは

清く、気をつけて行動し、みずから制し、法（のり）

にしたがって生き、つとめはげむ人は、名声が高ま

る。（法句經二十四中村元訳）

幸せになり、悟りを開くには、情熱を持ち、心は謙虚に、善き行いをし、心身体を整え、法律、社会のルール、仏法に従い生活することです。その努力すると名声も得られます。単純ですが、これが真理ですね。そして難しいけど、お題目を唱え、基本に忠実に生活してゆきたいですね。

心の言葉

南無妙法蓮華經と唱え

思いつつましく、行ないは

清くしよう

